



研究業績

著者	上野 寛子, 塩谷 祐人, 黒川 貞生, 徐 正敏, 徳間 晴美, 中野 綾子, 野副 朋子, 福山 勝也, ELAM, Jesse, THOMAS, Dax
雑誌名	明治学院大学教養教育センター附属研究所年報 : synthesis = The annual report of the MGU Institute for Liberal Arts
巻	2019
ページ	45-50
発行年	2020-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10723/00003890

06

研究業績

06

上野 寛子

【論文】

“A Genetic Study of a Newly Found Population of Siberian Salamander, *Salamandrella keyserlingii* (Amphibia, Caudata)” *Current Herpetology* 38(2): 122-127, August 2019

塩谷 祐人

【論文】

「フランスの『食』はフランスの縮図」『中央評論』71巻2号（通巻第308号） 2019年7月

「なぜアゴタ・クリストフの三部作は単純にして複雑なのか」『明治学院大学教養教育センター紀要カルチュラル』14(1) 2020年3月掲載予定

【学会発表】

「アゴタ・クリストフの小説技巧」スイス文学会 明治大学駿河台キャンパス（2019年6月22日）

黒川 貞生

【論文】

教養教育センター紀要『カルチュラル』第14巻 第1号 2020年3月25日 発行予定

タイトル：大学1年生における体力と生活習慣の関係

執筆者：杉崎範英、榎本翔太、諏訪間恵美、森田恭光、黒川貞生、亀ヶ谷純一、坂本慶子

徐正敏

【著書】

『近代東亜国除視國下の基督教教育与文化認同』（中国語、共著）、復旦大学出版社、2019、141-150頁（全体179頁）

『協力と抵抗の内面史』（共著）、新教出版社、2019、122-153（論文）、250-271（討論）頁（全体274頁）

『未完の独立運動』（共著）、新教出版社、2019、153-163頁（全体275頁）

【論文】

「日本プロテスタントの神学教育の歴史と現在—韓国との比較の観点から—」、明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュラル』、2019.3、29-43頁

「戦後日韓キリスト教の関係と歴史的責任の問題」（韓国語）『基督教思想』、2019.6、9-17頁

【学会発表】

「日韓キリスト教における2.8独立宣言と3.1独立運動」、2.8独立宣言100周年記念国際シンポジウム、在日本韓国YMCA、東京、2019.2.9

「3.1独立運動とキリスト教」、日韓聖公会青年セミナー、日本聖公会青年委員会、東京、2019.2.11

『日本キリスト教史の理解と「キリスト教コンプレクス」』、東京神学大学東北アジア教会史研究会セミナー、東京神学大学東北アジア教会史研究会、東京、2019.3.29

「3.1独立運動、大韓民国臨時政府樹立の贖罪史的な意義」、3.1独立運動、大韓民国臨時政府樹立100周年記念済州国際カンファレンス、3.1独立運動、大韓民国臨時政府樹立100周年記念済州国際カンファレンス準備委員会、済州韓国、2019.4.11

「アンダウトの宣教遺産とセムンアン教会」、第56回アンダウト学術講座予備発表、大韓イエス教長老会セムンアン教会アンダウト学術講座委員会、ソウル韓国、2019.8.17

「アンダウトの宣教精神とセムンアン教会、3.1独立運動とキリスト者のアイデンティティ」、第56回アンダウト学術講座本シンポジウム、大韓イエス教長老会セムンアン教会アンダウト学術講座準備委員会、ソウル韓国、2019.9.8

「反帝国主義のための宗教間の協力—韓国3・1独立運動を中心に—」、上海大学国際学術会議、上海大学文学院歴史系中国史高原学科、上海大学宗教与中国社会研究中心、上海中国、2019.11.2

徳間 晴美

【論文】

「日本語学習者の主体的選択に委ねられる敬語学習への向き合い方」『待遇コミュニケーション研究』第17巻 pp.52-67 (2020)

【学会発表】

「敬語学習の大切さと大変さの狭間にいる学習者—『完璧』を求めない学習者の事例分析—」日本語教育方法研究会 第53回研究会 福島大学 (2019.9.14)

【その他 (話題提供者)】

「日本語学習者の敬語学習への向き合い方を方向づけるものは何か」待遇コミュニケーション学会 第4回研究発表会 早稲田大学 (2019.12.14)

中野 綾子

【学会発表】

「「兵隊という読者」の宣伝—雑誌「兵隊」の記事を中心に」東アジアと同時代日本語文学フォーラム (台北・東呉大学) 2019年10月26日

【その他】

「軍隊内での読書・教育・研究が浮かび上がる史料」金沢文圃閣編集部編『日本陸軍『各部隊文庫図書目録』—帝国軍隊の読書装置』2019年11月 (推薦文)

野副 朋子

【論文】

Aung, M.S., Masuda, H., Nozoye, T., Kobayashi, T., Jeon, J-S., An, G. and Nishizawa, N.K., "Nicotianamine synthesis by OsNAS3 is important for mitigating iron excess stress in rice" *Front Plant Sci*, 10; 660: 1-16. doi: 10.3389/fpls.2019.00660, 2019

Nozoye, T., von Wirén, N., Sato, Y., Higashiyama, T., Nakanishi, H. and Nishizawa, N.K., "Characterization of the nicotianamine exporter ENA1 in rice" *Front Plant Sci.*, 10; 506: 1-17. doi: 10.3389/fpls.2019.00502, 2019.

【学会発表】

イネのニコチアミン排出型トランスポーター ENA1の植物における機能の解析、日本土壌肥料学会 (2019, 静岡)

ムギ類の鉄栄養に関わるムギネ酸類研究に関する最近の動向、第14回ムギ類研究会 (2019, 鳥取)

福山 勝也

【論文】

「マンガン化合物水溶液を試料としたホウ砂球反応における呈色とその傾向」
『カルチャー』(明治学院大学教養教育センター 紀要) 2020年3月掲載予定

【学会発表】

「溶球分析法における金属イオン併存時の呈色変化」第55回熱測定討論会 東大阪 (2019年10月)

Elam, Jesse

【Papers】

Nadasdy, P., & Elam, J. (2019). Critical discourse analysis of an authentic text applying Fairclough's three-dimensional framework. *東京電機大学総合文化研究*, 第17号, 21-30.

Elam, J. (Ed.). (2019). The effects of interpersonal strategies, worldviews, and conflict strategies on intercultural communication. *The Proceedings of 2019 International Conference and Workshop on TEFL & Applied Linguistics: The Department of Applied English, Ming Chuan University* (pp. 27-38). Taipei, Taiwan: Tung Hua Book Co., Ltd.

【Presentations】

Elam, J. (2019, August). *Using Quizlet Live to build communication and collaboration*. 2019 SPARCC Technology Conference, North Canton, OH.

Elam, J. (2019, November). *Fostering intercultural competence in the classroom*. Daegu-Gyeongbuk KOTESOL Regional Conference: The Inner Thrive, Deagu, South Korea.

Thomas, Dax

【学会発表】

Textbook vocabulary coverage in Japanese university student mythology essays. Asian Conference on Education (Tokyo, Japan). November 1, 2019

◆上記のほか、所員の業績を、下記URLにて報告しております。

<https://gyoseki.meijigakuin.ac.jp/mguhp/KgApp?courc=270000>